

エコドライブのすすめ

エコドライブとは

燃料消費量やCO₂排出量を減らし、地球温暖化防止につなげる“運転技術”や“心がけ”です。また、エコドライブは、交通事故の削減につながります。燃料消費量が少ない運転は、お財布にやさしいだけでなく、同乗者が安心できる安全な運転でもあります。心にゆとりをもって走ること、時間にゆとりをもって走ること、これもまた大切なエコドライブの心がけです。エコドライブは、誰にでも今すぐ始めることができるアクションです。小さな意識を習慣することで、あなたの運転がよくなって、きっと社会もよくなります。できることから始めてみましょう。

① 自分の燃費を把握しましょう

自分の車の燃費を把握することを習慣にしましょう。日々の燃費を把握すると、自分のエコドライブ効果が実感できます。車に装備されている燃費計・エコドライブナビゲーション・インターネットでの燃費管理などのエコドライブ支援機能を使うと便利です。

② 発進時：ふんわりアクセル「eスタート」

発進時の操作は、燃費消費削減の大きなポイントです。ふんわりとやさしく発進しましょう。（最初の**5秒**で、**時速20km程度**が目安です。）普段の発進より**10%程度**燃費が改善します。焦らず、ゆっくり発進することで、安全運転にもつながります。

③ 走行時：車間距離にゆとりをもって、加減速の少ない運転

燃費のいい運転のコツは、一定の速度で走ることです。車間距離が短くなるとムダな加速・減速の機会が多くなり、市街地では**2%程度**、郊外では**6%程度**も燃費が悪化します。車間距離にゆとりをもって、加減速の少ない運転を心がけましょう。

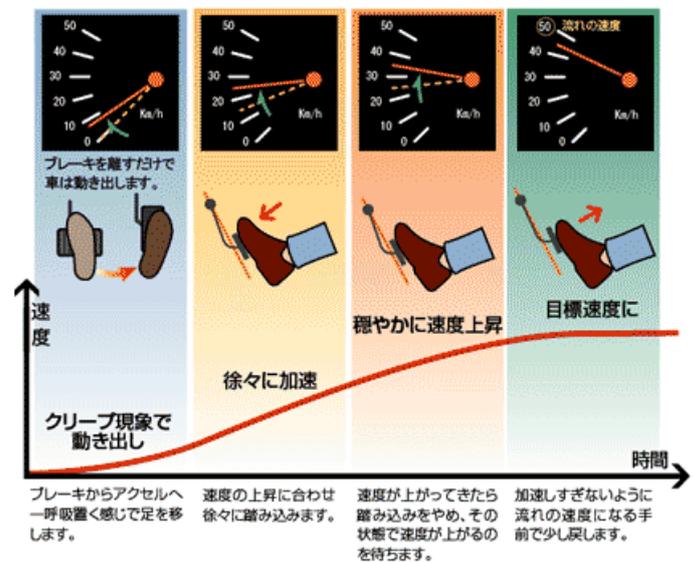
④ 減速時：早めのアクセルオフ

信号が変わるなど、停止することが分かったら、早めにアクセルから足を離しましょう。エンジンブレーキにより燃費が**2%程度**改善します。また、減速するときや坂道を下るときにもエンジンブレーキを活用しましょう。

⑤ 停止時：アイドリングストップ

待ち合わせや荷物の積み下ろしなどによる駐停車の際は、アイドリングはストップしましょう。10分間のアイドリング(エアコンOFFの場合)で**130cc程度**の燃料を消費します。また現在の乗用車では特別な状況を除いて暖機運転は不要です。エンジンをかけたらすぐに出発しましょう。

エコドライブ(発進時イメージ)



【図：(社)日本自動車連盟】

エコドライブ(減速時イメージ)

